

研修生のページ

本年 4 月に当センターの研修が開講されて早くも半年が過ぎました。そこで、今回は研修を受ける側と養成者の立場からそれぞれ感想を述べていただきましたので紹介します。

「半年が経って」

育成調教技術者養成研修 第 28 期生 矢吹 愛美

研修が始まり早くも半年が経過しました。“半年”という言葉を知ると、とても長く感じるのに、振り返ってみると本当にあっという間です。けれどその 1 日 1 日が本当に充実したものでした。入講当初は、年齢も出身地も経歴も全く違う人達と同じ場所に住み研修を行うことになかなか慣れず、1 年間一緒にやっけて行けるのだろうか、名前すら覚えられないかもしれない・・・と、とても不安でした。しかし、今では同じ研修生として、みんなで仲良く協力しあいながら研修を行えるようになりました。

騎乗についても、馬に跨ったことすらなかった人もいれば何年も乗馬をやっていた人まで、スタートは全然バラバラだったのに、今では誰が初心者で誰が経験者なのか分からない位にまでなり、走路でも 200 メートルを 20 秒程で走行出来るまでに上達しました。正直、研修生の中で一番長く馬に乗ってきた自分にとって、こんなにも早く周りに追い付かれる、さらには追い越されてしまうなんて思ってもみなかったことで、騎乗中に悔しい思いをしたことが何度もあります。だけど、それと同時にその悔しい思いや負けたくない気持ちが自分を掻き立て成長するきっかけにもなっているのだということも本当に感じていて、とても良い環境にいるのだなと実感しています。

たった半年間ですが、自分でも目に見える成長が出来て驚きと嬉しさで一杯ですし、そこまでのレベルにまで上げてくれた教官方、教育用馬、そしてあの広大な BTC 調教場と管理している方に本当に感謝しています。今までの半年間にこれだけ早かったということは、きっと残りの半年間もすぐに過ぎていくと思います。その間に自分がどんなに成長ができるのかが楽しみだし、あっという間に過ぎてしまう分、残りの研修を大切に日々精進し、充実した研修期間を送ってみたいです。

『今までの研修とこれから』

軽種馬育成調教センター 養成担当者 志村 和貞

『月日が経つのは年をとるほど早い』なんて言いますが、研修の半分があっという間に終わりました。

今年 4 月に入講してきた研修生は、例年に比べ平均年齢が高いため、教育や指導する立場からすると、初めの段階において体力的、柔軟性の部分で「本当に大丈夫なのだろうか…」と心配していました。しかし、そのような考えを払拭するかのようにな一生懸命研修に取り組んでいたため、例年以上のスピードで成長していると感じています。馬房清掃や馬の取り扱い方、騎乗をしている今の彼らの姿を見ると、入講当初に比べ、格段に進歩しているのが良くわかります。これも彼らが一日の日課の後に各個人が復習する努力を怠らなかった結果だと思っています。また、様々な課外研修を行っていくにつれて、研修生の社会性、コミュニケーションの取り方などが少しずつですが良くなっているように感じています。それも単に年齢の高い研修生たちが上手く年下をリードしていてくれていることが大きいと思っています。今年は口蹄疫の関係で、例年行われている「浦河競馬祭」が中止となってしまい、競馬に向けての課程などを体験させてあげられなかったのはとても残念でしたが、それ以上に彼らが何か大切なことを得たような気がします。

つい先日まで通常の訓練の他に、JRA の協力を得て若馬の馴致実習を実施しました。馴致開始当初の状態から日々成長していく若馬の姿を肌で感じることでできて大変勉強になったと同時に、大変実のある「楽しい」研修であったと研修生が日誌や口頭で伝えてくれました。今後、馴致した若馬がどのような活躍をしてくれるのか、とても楽しみです。

現在の研修生は、来年の年明けに行う JRA での育成馬騎乗実習に向けての騎乗訓練を中心に日々努力をしています。例年以上に上達しているとはいえ、騎乗経験が 1 年未満の彼ら、まだまだ未熟な部分もあります。しかし、各個人が向上心を持って研修を受けているので、色々な面での様々な困難をも乗り越えてくれると信じています。そして来年 4 月の公開調教、卒業供覧の時には、例年以上のすばらしい姿をみせてくれるのではないかと自分は今から楽しみにしています。

彼らは今、この業界における大変貴重な人材だと自分は感じています。様々な業種の職業がある中、あえてこの道を選んでくれている彼らに対して、感謝の気持ちで一杯になります。今後彼らに係わって下さる方々が、彼らの思いを大切にしながらご指導して頂けると僕はうれしく思います。この研修は彼らにとって、一つのきっかけに過ぎません。彼らが本当の戦力になるまで見守ってほしいと同時に、長い眼でご指導くださればと思っています。



4 月 たづなの持ち方練習
地上では上手くできるのだが・・・



5 月 トレーニングセールにて
1年先輩の騎乗に注目が集まる



6 月 入講2ヵ月目
少しずつそれらしくなってきました



9 月 競馬関連施設見学
偉大な種牡馬像の前で記念撮影